

## 第4回知多市図書館機能調査検討委員会 議事録

**開催日時:** 平成 30 年 12 月 21 日(金) 14:00～15:30

**開催場所:** 知多市役所 多目的会議室

**出席委員:** 中部大学現代教育学部 現代教育学科教授 深谷 圭助(委員長)  
南山大学人文学部 人類文化学科准教授 浅石 卓真  
知多市社会教育審議会会長 吉川 佳代(副委員長)  
生涯学習地域推進員、コミュニティ文化部長 竹内 徳得  
おはなし・みずぐるまメンバー 吉川 秀美  
子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねっと代表 山本 俊哉  
愛知県子育てネットワーク 岡戸 千尋  
八幡中学校校長 栗本 弘太  
ちた未来塾受講者(大学生) 岡田 侑樹

**欠席委員:** こどものまちスタッフ(大学生) 喜多野 真紀

**事務局:** 教育長 永井 清司、教育部長 岩田 光寿、生涯学習課長 柴山 利之、  
生涯学習課チーム長 黒川 衆史、生涯学習課 高橋 達也、杉江 麻衣、小林 将人

**次第:** 1 あいさつ  
2 図書館の整備手法について  
3 検討事項  
(1) 第3回図書館機能調査検討委員会の意見について  
(2) 知多市新図書館基本計画(案)について  
(3) 質疑・意見交換  
4 連絡事項等

**配布資料:** 資料1 第3回知多市図書館機能調査検討委員会 意見及び対応内容一覧  
資料1-1 現行の図書館の課題に対する新図書館での対応  
資料1-2 年齢別人口推移について -「知多市人口ビジョン(平成 28 年2月)」より  
資料1-3 スペースの柔軟な利用について  
資料2 知多市新図書館基本計画(案)【概要版】、知多市新図書館基本計画(案)

### 議事内容

#### 1 あいさつ

事務局 ただいまから、平成 30 年度第4回知多市図書館機能調査検討委員会(以下、「本委員会」)を開会する。最初に、委員会開催にあたり、教育長よりごあいさつ申し上げます。

教育長 (あいさつ)

事務局 続いて、委員長よりごあいさつをお願いします。

委員長 議論をしっかりと行い、市民にきちんとした知多市新図書館基本計画(案)「以下、「基本計画(案)」を提示できるようにしたい。よろしく願う。

事務局 委員長には、これ以降の議事の進行をお願いします。

#### 2 図書館の整備手法について

事務局 (説明)

委員長 この件について、質疑・意見はあるか。

(質疑・意見なし)

### 3 検討事項

#### (1) 第3回図書館機能調査検討委員会の意見について

事務局 (資料1、1-1、1-2、1-3の説明)

委員長 この件について、質疑・意見はあるか。前回委員会の意見のうち、ゆとりあるスペースと言いつつ、新図書館の延床面積が小さくなるのはいかがなものかという意見に対しては、公共施設再配置計画(案)の個別に20%縮減する施設には該当しないが、市全体の方向性には沿う必要あるとの考えにより、現行よりも少し縮減し 3,000 m<sup>2</sup>程度とした上で、様々な工夫をすとの説明であった。

委員 事業用地の中での位置や何階建といった規模等のイメージがないと議論できないような気がする。PFI のためイメージが湧かないのは仕方がないのかもしれないが、理想論ばかりの議論になってしまうような気がする。

事務局 資料1、No. 5に記載のとおり、具体イメージが提案できれば良いが、PFI で事業を実施するため、複層階か平屋かといった具体内容は、民間事業者の様々な提案から審査会で決めていく。民間事業者の自由な発想を妨げない意図や、具体イメージを出すイメージが先行してしまう面もある点、ご理解願う。

委員 朝倉駅周辺整備事業の進捗具合を、わかる範囲で教えていただけないか。

事務局 現在、各施設の機能、性能発注の仕様内容を関係課で詰めているところである。関係課とは、図書館は生涯学習課、市役所は総務課、子育て支援施設は幼児保育課、子ども若者支援課であり、各課において、公募に向けた要求水準資料として掲載する最低限確保すべき水準を検討中である。概ね来年度の夏までに各課で提案し、それを朝倉駅周辺整備推進室でとりまとめ、全体の公募に向けた要求水準資料(案)を来年度末または平成 32 年度の春に公表し、その後民間事業者を公募する予定である。現時点は、新図書館の方向性を出す段階である。前回委員会において新図書館の基本理念、基本方針が固まり、社会教育施設としての性格に加えてくつろぎと憩いの場としていくという方向性が出てきたので、これを受けて公募に向けた要求水準資料(案)を作成し、来年度、本委員会で審議していただく予定である。審議結果を踏まえ、朝倉駅周辺整備推進室に出していく。現時点は具体イメージが出せない時期ということをご理解願いたい。

委員 公募に向けた要求水準資料(案)は基本計画(案)より分厚くなるのか、コンパクトになるのか。

事務局 朝倉駅周辺整備推進室で公募に向けた要求水準資料の項目を洗い出しており、分量については精査中である。基本計画(案)より分厚くなるか、薄くなるかは現時点では未定だが、来年度の春から夏にかけて項目を詰め、この委員会に提案する予定である。

委員 位置づけとしては、まず基本理念があり、基本計画があって、公募に向けた要求水準資料ということで良いか。

事務局 良い。

委員 図書館については本委員会があるが、他の施設もそれぞれ検討委員会があるのか。他の施設においても、公共交通等の様々な課題があると思うのだが。

事務局 朝倉駅周辺整備推進室では、平成 28、29 年度に学識経験者と市民、関係団体などから成る朝倉駅周辺整備計画調査検討会議を開催した。市役所については、平成 29 年度に市民アンケートを実施した上で、「市役所のあり方」として、平成 30 年度にパブリックコメントを実施し、庁内関係課で検討委員会をつくって各部の必要面積を審議中であり、公共施設再配置計画との調整も含め検討中である。基本計画は新図書館と同時進行で進めている。事業全体は朝倉駅周辺整備推進室で調整し、とりまとめていく。

委員 子育て支援施設の検討は、先ほどの2課が実施しているのか。

事務局 幼児保育課、子ども若者支援課の2課が検討している。  
委員 新図書館の延床面積 3,000 m<sup>2</sup>の中に、子育て支援施設も入っているのか。  
事務局 入っていない。

(2) 知多市新図書館基本計画(案)について

事務局 (資料2の説明)  
委員長 この件について、質疑・意見はあるか。  
委員長 資料2、「4 新図書館の計画-施設計画-(3)開架書架と閉架書架の割合」、文言「閉架書架の割合を高めます」とあるが、「ゆったりしたくつろぎ空間の創出に努めます」といった表現の方が、印象が良いのではないか。現状の文言は、意味合いを理解しにくい。そもそも、「閉架書架の割合を増やす」とは、正確には「閉架書庫に収納する図書の割合を増やす」という意味合いだと思うのだが、資料2の文言は意味として通るのか。  
委員 通ることは通るが、一般の方にわかりやすい表現にした方が良いとは思う。  
委員長 「開架書架」や「閉架書架」といった文言も一般の方にはわかりにくいように思う。  
委員 「閉架書架の割合を高める」とあるが、多くの本が見える方が良いように思える。しまっている図書が多いと、空間的には良いが、サービスの面にはやさしくない表現に見えるのだが。  
委員長 おそらく表現上の問題だと思う。  
委員 思いつきだが、「割合」等は言わず、「効果的な書架の配置」、「効果的な書籍の収納」等の表現が良いのではないか。  
委員長 「ゆとりある空間のための効果的な書架の配置」等の方が前向きか。やはり「開架書架」「閉架書架」は少しなじみが薄い。  
委員 開架書架と閉架書架の割合が変わると、スペースが変わるのか。  
委員長 開架書架に多くの図書があると、スペースは窮屈な印象になるかと思う。  
現行の図書館では、閉架書架へのアクセスの仕方はどのような仕組みか。  
事務局 利用者の請求により、図書を取り出す仕組みである。  
委員長 市民がよく手に取るようなものは、なるべく開架書架に配置していただきたい。  
委員 新図書館の建物規模は現行との比較がないようだが、これはあえて出さないようにしているのか。3,000 m<sup>2</sup>程度と言われてもあまりイメージできないと思うので、現行と比較した表現の方が良いようにも思うが。  
事務局 公共施設再配置計画で施設規模の縮減が謳われていることから、公共施設再配置計画を考慮して「3,000 m<sup>2</sup>程度」と表現している。  
委員 駐輪場の規模に十分余裕があるなら、その分を建物にまわすといったことはできないか。  
事務局 駐車場と駐輪場は図書館側での整備は考えておらず、朝倉駅周辺整備事業の全体計画の中で、他の施設と兼用で整備する方向性である。市役所、商業施設、図書館等がそれぞれ必要な台数を要望、調整していく。  
委員 現行 250 台とは、図書館だけの規模か。  
事務局 そうである。  
委員 駐輪場は現行の利用状況に余裕があるため、現行の規模で充足する、という理解で良いか。  
事務局 良い。  
委員長 駐車場と駐輪場は一緒に記載しても良い気がする。文言が似ている。  
委員 図書館として必要な規模を全体計画に対して要求していくという意味合いで良いか。  
事務局 良い。ただし、民間事業者が整備する予定であるため、公共施設として2時間無料とすると、市から駐車料金の補填が必要になるといった可能性もあり、規模は今後精査する。現段階では、具体的な数値は基本計画に記載できないため、現状のような表現としている。

委員 新図書館に対して抵抗感があるのは、駐車場の件が大きい。駐車料金が有料化されるとゆっくりできないのではないかという懸念や、スペースが十分に確保されるのかといった懸念がある。

事務局 駐車場については市民アンケートでも懸念されている意見が多く、事務局としても課題として認識している。ただ、事業用地の用途地域を変更するため、複層立体駐車場の立地が可能である。具体規模は未定であるものの、図書館側としては最低限現行以上の規模を要望していく。朝倉駅周辺整備推進室においても、交通面の課題については優先課題として取り組んでいるのでご理解願う。

委員長 他の施設と兼用になること、また、駅前立地になることから、現行の使い勝手とは異なるものになる。現行より駐車料金がかかるといったことは、基本計画ではあまり強調しない方が良いでしょうと思う。

事務局 施設計画は基本計画の肝であり、表記については再度検討する。

委員長 資料2の文面が来年春に公表されるのか。

事務局 資料2が概要版であり、本編とセットで市民に案として公表し、意見を募る。斟酌すべき市民意見を反映した上で、来年夏頃までに最終案としてまとめる。

委員長 おそらく、様々な意見が出ると思う。

委員 資料2を見ると、箱が新しくなって、場所が変わり、中身が充実するイメージだが、他の委員はどのような印象か。

委員長 ロケーションが大きいように思えるが、今まで利用していなかった人も来れるのではないか。

委員 資料1-2に衝撃を受けた。人口減少、少子高齢化について、国の数値ではピンとこなかったが、知多市の数値を見て身近に感じる。生産人口が減少していく中で図書館がどのようになっていくかという点はあまり想像できておらず、現在の考え方とは違うものになるような気がする。蔵書数が少なくなるのもやむをえないし、数が少なくなることは悪くなく、成熟、質を高めるといった観点で考えていくことが必要ではないかと思う。

委員 また、すべての意見を集約すると中途半端なものになるのではと思う。キャッチフレーズを実現するものは何かを考えていくことが必要かと思う。

委員長 新しい時代の中でどういったものが必要かという点は、重要な課題かと思う。

委員 図書館における高齢者サービスについては、ここ10年ほどでかなり議論され、高齢者向け講座等のイベントも先進的な図書館等で実施されているが、これからの時代にどうすればいいのかという点は、現時点では言い切れない。

委員長 図書館だけでなく、様々なところで対応していく課題であると思うが。

委員 新図書館ができることで、様々な意味で現行の図書館より良くなると考えて良いか。

委員長 良いと思う。

委員 市外からの利用が増えたり、市外から引っ越してくる人がいるような魅力ある施設にすることが重要か。

委員長 そうだと思う。

副委員長 高齢者が身近に行けるような図書館とすることにも力を入れてほしい。駐車場について、現在、朝倉駅周辺には、歴史民俗博物館をはじめとした公共施設が色々集まっているが、無料である。新図書館が有料となると、他の公共施設はどうなるのか。有料にしてはいけないとは思わないが、この点を検討する必要があると思う。

委員長 調整がなされると思うが、全体では無料駐車場は減少する流れとは思われる。

委員 新しいものをつくるにあたっては、他とは違う、知多市独自のものであってほしい。知多市の特徴が何かと言われると難しいが、緑園都市が忘れられていくようにも思われ、この点について検討してほしい。現在、市役所周辺に大きな木がある等、非常に良い環境である。こういった

ことを大事にし、知多市の良さをアピールできる施設としてほしい。

委員 資料2の内容は理想論が多いと思っており、中身を詰めれないことがもやもやしている。概要版として市民に見てもらったとき、良い点が伝わってこない。もう少し内容を記載しても良いのではと個人的には思う。

委員 知多市の特徴については、必ずしも最初に決めなくても、運営でその都度実施していく手法も良いのではないかと。六本木ヒルズの図書館はイベントを多数開催しているが、館長の話では、図書館の会員が話し合った内容を実施していったため、満足度が高い図書館ができたとのことだった。知多市も、図書館ができた後に市民が関わって色々なことを実施していくといった手法も良いのではないかと。

委員長 本委員会で決められる内容には制限があり、図書館に求められる機能といった抽象的な内容で、具体内容は今後の提案によるものである。あまり具体的に決めてしまうと今後の提案を制限してしまうという点もあり、もやもやする部分はあるが、致し方ない面はあると思う。様々な図書館がある中、展示会やイベント等、ソフト面で充実するといった手法もあるという意見も出た。

委員 新図書館に夢を持ってもらいたいのだが、資料2の項目1がマイナスの内容である。項目の並びも重要ではないか。例えば、項目1に基本理念等の方針があると楽しそうに見えるかもしれない。

委員 資料2を市民に公表し、意見を募るとのことだが、このままでは少し気になる点がある。サービス計画等は必要だが、施設計画のうち、駐車場・駐輪場台数等は機能としては公表してもあまり意味がないのではないかと。規模は必要かもしれないが、朝倉駅周辺整備推進室に提出する資料と市民向けの資料は別で考えた方が良く思う。

委員 現状の課題に対し、新図書館の整備によってどうなるのかがすぐにわかるように記載すると良いのではないかと。資料1-1のような記載とすると良いかもしれない。

委員長 項目1で現行の図書館の課題が記載されているのは、市民からすると気分が良くないかもしれない。

事務局 市民に対し、現行と新図書館の違いをアピールするのはもう少し後かと思っており、民間事業者から具体的な提案が出た時点で、対照表等を作成したい。現時点では、新図書館に抵抗を持っている人も多いため、まずは、現行の図書館を駅前に移転することに対する意見、商業施設と隣接してくつろぎの図書館にしていくことに対する是非を問いたい。その後、民間事業者からの提案が出た後で、改めて具体的なものを提示したい。夢のある提示は、現時点では時期尚早かと思っている。現行図書館の課題は、新図書館の必要性を出すという意図もある。現時点は、老朽化等の課題を市民の方に知っていただき、市民の意見を伺う段階と思っている。

委員長 事務局の進め方や考え方についてはご理解いただければと思う。本日は、第3回委員会の意見を整理して反映した内容について、議論していただいた。

委員長 その他、質疑・意見はあるか。

(質疑・意見なし)

### (3) 質疑・意見交換

(上記(1)、(2)のとおり)

## 4 連絡事項等

事務局 今後のスケジュールについて、本日、ご審議いただいた新図書館の基本計画(案)については、今後、庁内の調整及び手続きを経たのち、市民に案を公開し、案の意見を伺うパブリック

クコメントを3月末から約 1 か月間実施する予定である。なお、パブリックコメントの基本計画(案)については、パブリックコメントの実施前、3月末に、委員の皆様へ送付をさせていただく。平成 31 年度については、パブリックコメントにおける、基本計画(案)に対する市民からの意見について、対応案を本委員会で5月に審議した後、修正した最終案を新図書館基本計画として6月ごろ策定予定である。また、並行して、事業者に対し、新図書館の設計から建設、維持管理までの公募を行うため、新図書館の基本計画に沿った新図書館機能等をまとめた公募に向けた要求水準資料(案)を作成し、7月頃、本委員会でご審議いただく。なお、平成 31 年度の本委員会は3回程度を予定しており、次回は5月 10 日(金)を予定しているのにより願う。

## 5 閉会

以上